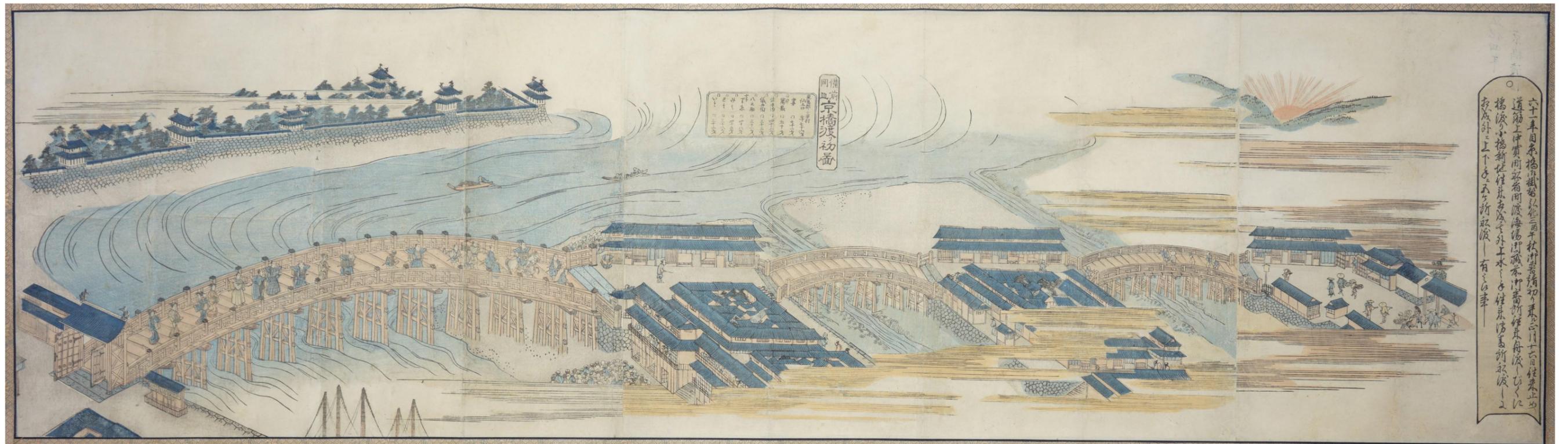


岡山市立図書館創立百年記念誌

百年の歩み

# 百年の歩み



岡山市立図書館

## 岡山市立図書館

## 岡山市立図書館基本方針

地域に密着し、一人ひとりのくらしと  
まちづくりに役立つ図書館

### 基本方針 1

市民の教養、調査研究、レクリエーション等に役立つ資料・  
情報を身近なところで迅速に提供します。

### 基本方針 2

多様な図書館利用者に対応した、きめ細かい図書館サービス  
を提供します。

### 基本方針 3

市民の生活や仕事、地域の各種課題に対応した図書館サービス  
を行います。

### 基本方針 4

学校園や公民館等との連携・協力を強化します。

### 基本方針 5

市民とともに成長する図書館を目指します。

※「岡山市立図書館の在り方について」（平成 26 年 3 月策定）より

# お祝いの言葉

教育長 菅野 和良



大正 5 年 10 月 6 日に岡山市立図書館が創設されてから、100 年目を迎えることになりました。これまでご尽力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

岡山市立図書館の始まりは実業家山本唯三郎氏による寄付の申し出によるものです。その山本氏の篤志の精神を受け継いで、市民と職員と一緒に創り上げてきたものが現在の岡山市立図書館であります。岡山空襲の時には貴重な蔵書だけでなく建物も罹災し、移転を余儀なくされました。そんな厳しい時代においても、吉岡三平館長によって恩徳寺に疎開させていた資料や市民の方から寄贈された資料をもとに、場所を転々としながらも図書館運営を続けてまいりました。

昭和 39 年に幸町に岡山市立図書館が新築され、市民の方と共に新しい図書館の開館を喜び合いました。現在の場所に中央図書館が移転、開館した昭和 58 年も、市民の皆様にとって忘れられない年になったと思います。

昭和 45 年には、約 5 万冊だった蔵書も、現在では約 160 万冊になっております。地区館や分館を含めると全 10 館、移動図書館の巡回場所は約 170 カ所に上ります。また、インターネット予約により、公民館でも図書が受け取ることができるサービスを模索するなど、70 万岡山市民に対して細やかな資料提供ができるよう少しずつではありますが改善を重ね、より利用しやすい図書館を目指しております。

利用されている方は、年間延べ 70 万人を超え、貸し出し冊数は 400 万冊を超えております。乳幼児からご高齢の方まで、利用されている様子は、微笑ましいと同時に岡山市民の知的欲求の深さを見る思いです。

思えば図書館は、市民の知的生活を支える無くてはならない施設です。書物に親しみ、読書の楽しさを知ることは人生を豊かにします。一冊の本との出会いが、その人のその後の人生を変えてしまうような大きな転機となることもあります。

また、岡山に関する郷土資料は岡山市立図書館にしかないものが多く、歴史を語る貴重な資料となっています。資料を幅広く収集し、市民の方に多く提供するという図書館運営は、10 年、20 年の短い期間でできるものではありません。この記念誌作成が先人の努力を振り返る機会となるとともに、次の 100 年に向けての礎となるよう心より祈念しております。

# 岡山市立図書館 100 周年に寄せて

岡山市立中央図書館館長 宮本 嘉彦



私は図書館ほど便利で誰でも自由に利用できる施設はないと考えている。

みんなが支払った税金によって賄われ、子どもから高齢者まで、誰に気兼ねすることなく、自由に新聞や本が読めるし、貸出の手続きをすれば本を図書館外へ持ち出すこともできる「無料」の施設だ。

子ども向けの本から大人向けの本まで、既に書店に並んでいない本や雑誌のバックナンバー、古い新聞も含め、所蔵している本はバラエティに富み、人生を豊かにしたり、生活に潤いを与えたりする本、意見が相反する本もあれば、仕事に役立つ本もある。ご近所とのトラブルや身体の悩みを、弁護士や医師などの専門家に相談する前に本で事前に調べておくこともできる。司書に頼めば調べものにも応じてくれるし、自分が利用している図書館以外の本も利用可能だ。

こんな便利な市立図書館だが、現在は岡山市民の1割程度の方にしか利用されていない。どこに住んでいる方にも、図書館が利用しやすくなればと願うが、高齢化が進み、人口減少と税収の落ち込みが予想される中、状況はなかなか厳しい。

ただ、創立当初1館で4千冊しかなかった市立図書館が、100年後の今、10館で160万冊の蔵書を有している。戦争があったり、図書館予算も今よりずっと少なかったりと、今よりはるかに困難な条件だったと思うが、市民の支えと、諸先輩方の努力と工夫によって今日の市立図書館がある。

現在、図書館ではデジタル機器を使った様々なサービスを実施している。

図書館に来館しなくてもスマートフォンやパソコンからインターネット経由で本を予約することもできるし、全国の図書館のいくつかでは、電子書籍を利用したサービスも始まっている。文字の拡大や音声で文字も読み上げてくれるなど、高齢者や障害者へのサービスにも有用である。また劣化が進む貴重な地域資料を将来にわたって保存するには、デジタル化による保存が必要である。

いつの日かどこの図書館の本でもデジタル機器さえあれば誰でも自由にアクセスできるようになっているかもしれない。ただ、新しいメディアは技術革新が著しく、10年経たないうちに陳腐になり利用できなくなる可能性がある。

図書館は新しいメディアに目を向けるだけでなく、今ある紙の資料もきちんと保存し、後世に伝えていく必要がある。

100年後、200年後の岡山市民にも先人たちの遺産を残し、伝えていくことが、大切であると考えている。

## 目 次

「お祝いの言葉」	教育長 菅野 和良	1
「岡山市立図書館 100 周年に寄せて」		
	岡山市立中央図書館長 宮本 嘉彦	2
1 章	岡山市立図書館沿革史	5
2 章	職員構成表・組織図	13
3 章	岡山市立図書館 歴代館長名	17
4 章	特別文庫	21
5 章	図書館活動の記録	25
	(1) 実績指数	26
	(2) 館別個人貸出数	27
	(3) 館別個人登録者数	27
	(4) 団体貸出数	28
	(5) 公民館図書コーナーの貸出の内訳	28
	(6) 資料整理状況	29
	(7) 小学校区別登録者数	30
	(8) 個人貸出冊数・予約受付件数の推移	31
	(9) 岡山市立図書館と他政令指定都市立図書館との比較	34
	(10) レファレンス事例集	36
	(11) 障害者サービス	38
	障害者家庭配本について 三船 充是	40
	「朗読奉仕の会」との出会い 久保田 三千代	42
6 章	平成 27 年度行事・集会活動の記録	43
	(1) 行事・集会活動	44
	(2) 展示	50
	(3) 視察・見学等	51
	(4) 岡山市子ども読書活動推進委員会事務局業務	52
	(5) 当館所蔵貴重資料の出陳・出版物への掲載等	52
7 章	100 周年記念行事の記録	55
	(1) 100 周年関連行事一覧	56
	(2) 講演会・展示等	61
	(3) ココロつながる読みきかせフォトコンテスト	65
	(4) 図書館川柳コンテスト	66
	(5) 郷土資料の展示	68

8 章	回想	・・・・・・・・・・・・・・・・	73
	基本を大事にする図書館	菱川 廣光	74
	「古典を楽しむ会」の思い出	竹内 俊祐	75
	〈図書館はだれのもの〉—生まれかわった幸町図書館—		
		筒井 悦子	76
	岡山市立図書館 100 周年に寄せて	田淵 漣子	78
	35 年間	萩原 芳身	79
	館友会の思い出	竹原 嘉念子	80
	岡山市立図書館の 30 年	田井 郁久雄	82
	ボランティアと市民と図書館	・・・・・・・・	84
9 章	各図書館の紹介	・・・・・・・・	85
10 章	条例・規則	・・・・・・・・	99
	岡山市立図書館条例	・・・・・・・・	100
	岡山市立図書館条例施行規則	・・・・・・・・	103
	岡山市立視聴覚ライブラリー条例	・・・・・・・・	109
	岡山市立視聴覚ライブラリー条例施行規則	・・・・・・・・	110
	岡山市公園条例・岡山市公園条例施行規則	・・・・・・・・	113
	西大寺緑花公園緑の図書室管理規則	・・・・・・・・	114
	西大寺緑花公園緑の図書室処務規則	・・・・・・・・	115

## 1 章 岡山市立図書館沿革史



岡山市立中央図書館外観

大正 5年 9月 18日	山本唯三郎氏より「図書館建築の上、市に寄付したい」旨の申し出があり、議会の承認を受けた。※1
大正 5年 10月 6日	岡山県より図書館設置の認可を受ける。 「岡山市立岡山図書館」と称する。岡山市小橋町 39 番地
大正 5年 12月 5日	建築工事着手（工事費 12,928 円）※2
大正 6年 9月 30日	工事完工
大正 7年 12月 8日	開館式を挙行し、一般閲覧を開始する。
大正 8年 9月 15日	「岡山図書館」と改称
大正 8年 10月 1日	館外閲覧を開始
昭和 14年 7月 25日	図書館評議員制定される。
昭和 20年 6月 29日	岡山市空襲により罹災。蔵書の大半を焼失 ※3
昭和 20年 7月 1日	円常寺客殿に仮事務所を設置 岡山市国富
昭和 20年 8月 1日	旭東幼稚園内に移転
昭和 20年 8月 9日	弘西国民学校に移転
昭和 20年 11月 27日	内山下国民学校に移転
昭和 20年 12月 1日	内山下国民学校講堂控室に図書館開設
昭和 21年 8月 12日	岡山市公会堂に移転 岡山市内山下
昭和 24年 6月 25日	元岡山市産業文化博覧会教育館に移転し、増改築工事に着手
昭和 24年 8月 29日	「岡山市図書館」と改称
昭和 24年 10月 27日	増改築工事完工・開館（工事費 180,000 円） 蔵書 12,000 冊、貸出料 半年 30 円 1年 50 円
昭和 26年 4月 1日	図書館法の制定 貸出料が無料となる。
昭和 26年 8月 9日	岡山市図書館協議会が発足
昭和 29年 9月 7日	自動車文庫「あおぞら号 1 号」活動開始
昭和 33年 8月 22日	津倉分館の開館
昭和 36年 5月 9日	科学博物館（烏城公園内）に移転
昭和 36年 8月 1日	今分館の開館（S.38.4.19 閉館）
昭和 38年 12月 14日	図書館新築工事着手
昭和 39年 9月 7日	図書館新築工事完工
昭和 39年 10月 1日	「岡山市立図書館」と改称
昭和 39年 12月 1日	開館式（岡山市幸町 10-16）
昭和 44年 2月 18日	西大寺市と合併 西大寺分館を開館
昭和 45年 7月 4日	岡山市立図書館友の会が発足
昭和 46年 1月 15日	西大寺市民会館内に西大寺分館が移転
昭和 46年 5月 1日	足守町と合併 足守分館を開館

昭和46年	6月22日	津倉分館を閉館 伊島分館を開館
昭和47年	1月25日	吉備公民館内に配本所を開設
昭和48年	8月 1日	各地区公民館に配本所を開設
昭和49年	1月 5日	大型移動図書館車「あおぞら号3号」活動開始
昭和50年	9月17日	足守公民館内に足守分館が移転
昭和51年	3月10日	図書館福武基金の設置
昭和51年1	1月 3日	創立60周年記念事業 記念誌「60年のあゆみ」出版
昭和52年	5月11日	市立図書館朗読奉仕の会発足
昭和56年	4月14日	市図書館サービス網計画について調査委託 (図書館計画施設研究所・菅原 峻氏)
昭和56年1	1月12日	市図書館計画のための報告書完成
昭和57年	4月21日	新築図書館 実施設計の最終協議
昭和57年	5月 6日	建築現場の文化財試掘調査 (~6.30)
昭和57年	5月26日	「岡山市立中央図書館」の新築工事着手
昭和58年	3月31日	新築工事完工 岡山市二日市町56
昭和58年	4月27日	中央図書館開館式挙行
昭和58年	5月 1日	幸町図書館(旧本館)開館
昭和58年	6月 8日	伊島図書館の移転(伊島小学校内へ)
昭和59年	7月 7日	坪田譲治文学碑完成 除幕式
昭和62年	3月19日	日本図書館協会より建築優秀賞受賞
昭和63年	4月 1日	図書資料複写料金改定 50円→20円
昭和63年	4月27日	コンピュータの機種選定等委員会設置
昭和63年1	2月20日	コンピュータ本体の設置
平成 元年	4月 1日	新図書館準備事務所の設置
平成 元年	4月 4日	図書館システムのコンピュータ本稼働(中央、幸町、西大寺)
平成 元年1	0月18日	幸町図書館が移転
平成 元年1	0月 1日	中央図書館にコインコピー機設置
平成 2年	3月24日	「岡山市立幸町図書館」の新築工事着手
平成 2年	4月 1日	浦安総合公園図書館 移管により開館 伊島図書館オンライン化
平成 3年	4月 1日	浦安総合公園図書館オンライン化
平成 3年1	0月 1日	浦安総合公園図書館 休館日変更
平成 4年	1月31日	幸町図書館 新築工事完成
平成 4年	5月12日	幸町図書館 開館式挙行
平成 4年1	1月 1日	移動図書館コンピュータ化

平成 5 年 4 月 1 日	完全週休 2 日制 開始
平成 6 年 8 月 23 日	伊島図書館移転開館（京山公民館内）伊島町二丁目 9-38
平成 6 年 11 月	「岡山市立図書館整備基本計画」策定
平成 7 年 10 月	中央図書館建物劣化診断調査実施
平成 8 年 7 月 25 日	岡山市立図書館整備実施計画策定検討委員会発足
平成 9 年 6 月 1 日	休館日・開館時間の変更実施（休館日：第 3 日曜から第 2 日曜へ、開館時間：中央・幸町図書館は、毎週木曜日 11 時～19 時）
平成 9 年 6 月	「岡山市立図書館整備実施計画」策定
平成 9 年 12 月 2 日	岡山市立図書館情報提供システム（OCL-NET）運用開始
平成 10 年 6 月 1 日	幸町図書館 AV コーナーへ BDS 導入
平成 11 年 4 月 1 日	図書資料複写料金改定 20 円→10 円
平成 11 年 4 月 1 日	中央図書館敷地内に旭東幼稚園旧園舎復元完成
平成 12 年 3 月 31 日	岡山市図書館協議会を廃止
平成 12 年 4 月 1 日	幸町図書館開館時間の延長（平日：10 時～20 時） 岡山市生涯学習課題検討委員会が発足
平成 12 年 12 月 1 日	「岡山市立図書館整備実施計画」（修正追補・案）策定
平成 14 年 5 月	「岡山市立図書館整備実施計画」の見直しを行い、改訂「岡山市立図書館整備実施計画」策定
平成 15 年 6 月 7 日	幸町図書館視聴コーナー廃止
平成 15 年 7 月 27 日	中央図書館駐車場整備、有料化
平成 15 年 10 月 1 日	利用者カード新デザイン募集（中央図書館開館 20 周年にあたり）
平成 15 年 10 月 10 日	中央図書館ビデオ視聴コーナー廃止
平成 15 年 12 月 20 日	中央図書館喫茶コーナー廃止
平成 15 年 12 月 25 日	岡山市立図書館基金の設置
平成 16 年 4 月 1 日	利用者カードの新デザイン決定
平成 16 年 12 月 21 日	図書館電算システムの全面見直し インターネット予約開始
平成 17 年 3 月 22 日	御津町、灘崎町と合併 御津図書館、灘崎町図書館（分館）開館
平成 18 年 12 月 1 日	御津図書館、灘崎町図書館とシステム統合
平成 19 年 1 月 22 日	建部町、瀬戸町と合併 建部町図書館、瀬戸町図書館（分館）開館
平成 21 年 3 月	「岡山市子ども読書活動推進計画」を策定
平成 21 年 4 月 1 日	岡山市が政令市に移行

平成21年11月24日	岡山ふれあいセンターとの連携を開始（相互返却、予約本受け取り）
平成22年 3月22日	灘崎町図書館の名称が「灘崎図書館」に変更
平成22年 3月31日	西大寺図書館閉館
平成22年 4月 1日	西大寺緑花公園緑の図書室開館（百花プラザ内） 東区西大寺南一丁目2-3 ふれあいセンターとの連携を拡大（ふれあいセンター全館を対象に）
平成22年 9月 1日	インターネット予約の対象資料を拡大
平成23年 3月	『子どもが本と出会うまっぷ・岡山』発行
平成23年 3月31日	岡山市生涯学習課題検討委員会を廃止
平成24年 3月 1日	コンピュータシステム（インターネット予約を含む）全面更新 建部町図書館、瀬戸町図書館とシステム統合
平成26年 3月	「岡山市立図書館の在り方について」策定
平成26年 4月 1日	中央図書館休館日変更（第二日曜日・祝日開館） 図書館資料複写料金改定（片面1枚につき、モノクロ複写10円、カラー複写50円）
平成27年 7月 1日	中央図書館にて、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
平成28年	岡山市立図書館創立100周年
平成28年 4月 1日	西大寺緑花公園緑の図書室 第二日曜日を試行開館
平成28年 7月21日	足守図書館オンライン化 高松公民館・福田公民館オンライン化及びインターネット予約開始
平成28年 8月 5日	雑誌スポンサー制度開始（募集開始）
平成28年10月20日	高島公民館オンライン化及びインターネット予約開始

※1『岡山市図書館 沿革その一』（岡山市立中央図書館所蔵）、黒崎義博著『岡山の図書館』（日本文教出版、1991）による。『岡山市会史 第1巻』（岡山市議会、1986）では8月8日としている。

※2岡山市立図書館創立60周年記念誌委員会編『60年の歩み』（岡山市立図書館、1977）による。『山陽新報 大正5年12月7日』『中國民報 大正5年12月7日』では12,360円と報じている。『岡山市図書館 沿革その一』では、工費12,928円余 開館準備費5,000円とある一方、総工費17,316円という記述も見られる。

※3焼失冊数について、『60年の歩み』では7,000冊、『岡山市百年史 上巻』（岡山市、1989）では67,000冊としている。『昭和18年岡山図書館年報』（岡山図書館、1942）によると昭和17年12月末の蔵書冊数は52,077冊、『岡山の図書館』には、昭和18年に7,500冊の寄贈があったことや空襲前日に300冊ほど疎開したとの記述がある。

# 思い出のページ



創立時（小橋）山本唯三郎氏寄贈  
大正7年12月8日～昭和20年6月29日 戦災で焼失



巡回文庫



自動車文庫の始まり



昭和29年ごろ 巡回文庫利用の様子



内山下（石山の緑陰図書館）



子ども一日図書館員

# 思い出のページ

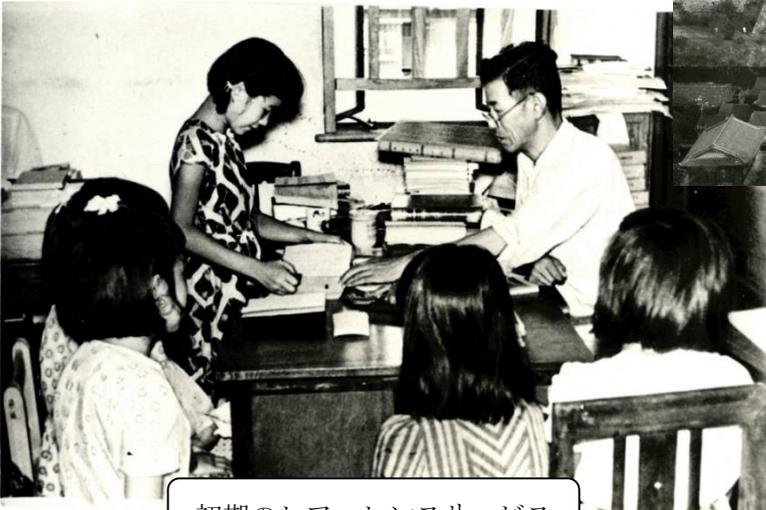
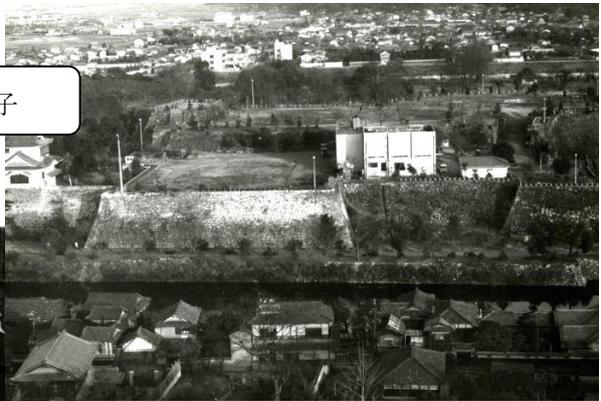


月曜日を歩く会  
100回まで続いた郷土史探訪講座



右から1号車(600冊) 2号車(400冊)  
5号車(家庭配本車)

内山下(石山)の様子



初期のレファレンスサービス



昭和25年 内山下 閲覧室風景

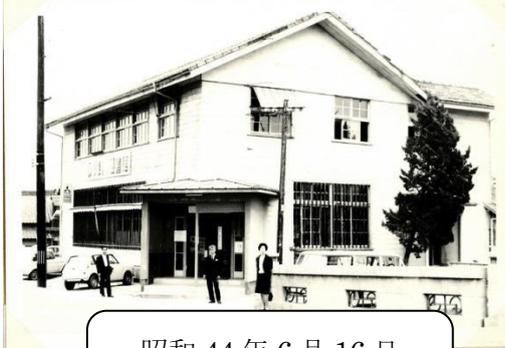


昭和39年 本館完成



昭和41年10月16日  
岡山市立図書館創立50周年記念式

# 思い出のページ



昭和44年6月16日  
合併当時の西大寺分館



昭和42年3月18日  
第1回 本を楽しむ会



昭和46年6月22日  
津島分館を廃止し伊島分館へ移転



昭和46年12月5日  
岡長平さんを偲ぶ展覧会



昭和47年4月29日 吉岡三平氏叙勲



昭和47年8月 郷土室オープン

## 2章 職員構成表・組織図



西川アイプラザ・幸町図書館外観

職員構成表 (※パートタイム職員、学生アルバイトを含む。)

平成28年4月現在

所属名 館名 職名	中央図書館										
	中央	幸町	浦安	足守	伊島	建部町	御津	瀬戸町	灘崎	西大寺(緑)	計
館長	1 (1)										1 (1)
館長補佐	2 (1)	1 (1)									3 (2)
学芸副専門監	1										1
館長 (地区図書館長、 図書室長)		館長補佐 事務取扱	1 (1)							1 (1)	2 (2)
館長 (分館長)				足守公民館 長兼務(嘱託)	幸町図書館 長兼務	建部町公民館 長兼務(嘱託)	嘱託	嘱託	嘱託		
主査	3 (2)										3 (2)
副主査	4 (3)	1 (1)								1 (1)	6 (5)
主任	5 (4)	5 (5)	1 (1)								11 (10)
司書	1 (1)										1 (1)
主任用務技士兼主任自動車技師	2										2
司書(再任用)	1 (1)	1 (1)									2 (2)
自動車技師(再任用)	1										1
主事(任期付短時間勤務)	0.8 (0.8)										0.8 (0.8)
嘱託司書	10 (10)	6 (6)	1 (1)		2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	25 (25)
嘱託	1 (1)	1 (1)					1	1	1		5 (2)
臨時	7 (6)	2 (2)			1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)		2 (2)	15 (14)
パート・アルバイト	4.1 (1.0)	2.2	0.7		0.7	0.6 (0.6)	0.6	0.8 (0.4)	0.2	1.1 (0.2)	11 (2.2)
<b>合計</b>	<b>43.9 (31.8)</b>	<b>19.2 (17.0)</b>	<b>3.7 (3.0)</b>	<b>0 ( )</b>	<b>3.7 (3.0)</b>	<b>2.6 (2.6)</b>	<b>3.6 (2.0)</b>	<b>3.8 (2.4)</b>	<b>3.2 (2.0)</b>	<b>6.1 (5.2)</b>	<b>89.8 (69.0)</b>

館名	中央	幸町	浦安	足守	伊島	建部町	御津	瀬戸町	灘崎	西大寺(緑)	計
<b>正規職員</b>	19 (12)	7 (7)	2 (2)							2 (2)	30 (23)
うち事務職	3										3
うち司書職	12 (12)	7 (7)	2 (2)							2 (2)	23 (23)
うち学芸副専門監職	1										1
うち技能労務職	3										3
<b>非常勤職員 (再任用・任期付短 時間勤務・嘱託司 書・嘱託・臨時・ パート・アルバイト)</b>	24.9 (19.8)	12.2 (10.0)	1.7 (1.0)		3.7 (3.0)	2.6 (2.6)	3.6 (2.0)	3.8 (2.4)	3.2 (2.0)	4.1 (3.2)	59.8 (46.0)
<b>司書有資格者</b>	31.8	17.0	3.0		3.0	2.6	2.0	2.4	2.0	5.2	69.0

※正規、嘱託司書、嘱託、臨時は教育委員会事務局雇用。パート、アルバイトは課雇い。

※再任用は週30時間、任期付短時間勤務は週24時間、嘱託司書は週36時間、嘱託は週30時間勤務。

※パートタイム職員は社会人、アルバイトは学生。

※( )内は司書職で内数。

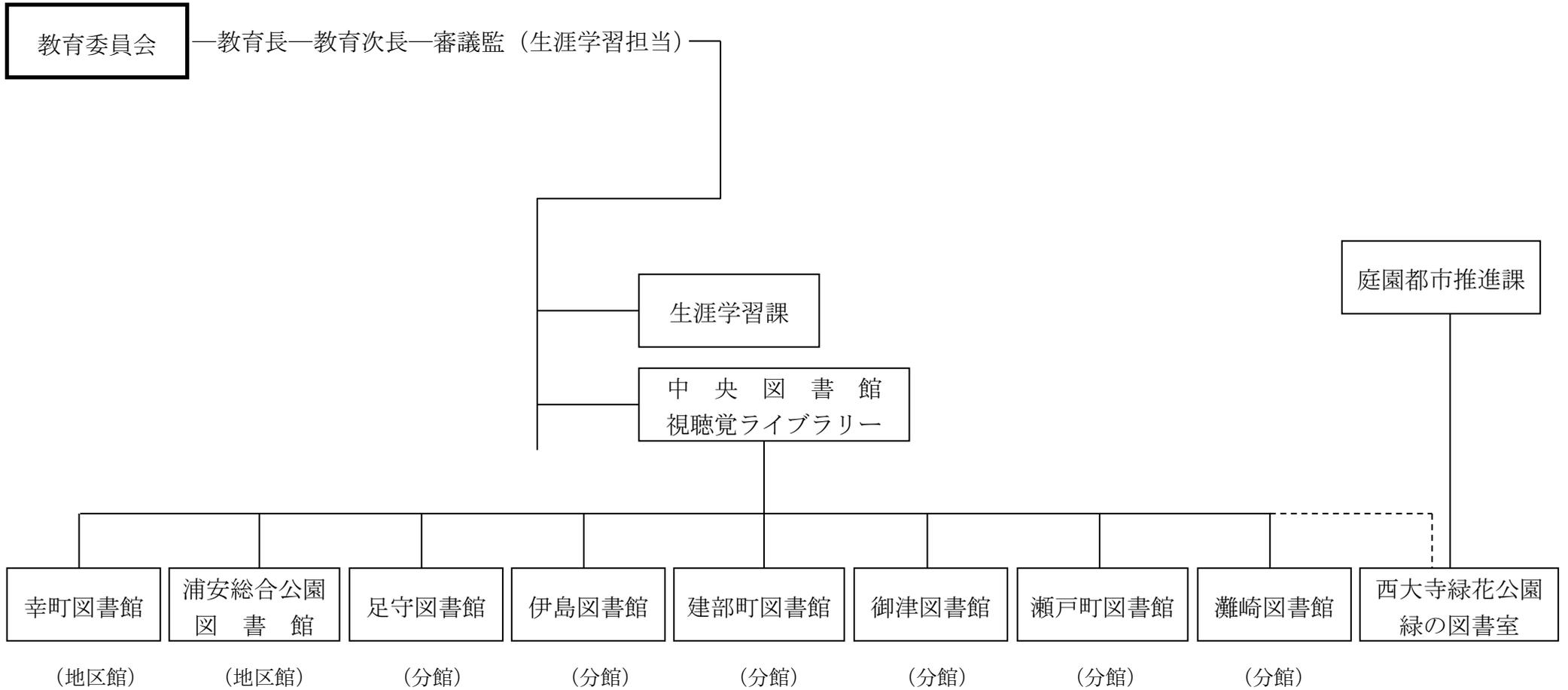
※足守図書館は足守公民館に併設。足守図書館長は足守公民館長が兼務。公民館が主たる勤務先のため、人数にはカウントせず。

※建部町図書館長は建部町公民館長が兼務。公民館が主たる勤務先のため、人数にはカウントせず。

※任期付短時間勤務、パート、アルバイトは年間労働時間1,500時間を1人としてカウント。

※視聴覚ライブラリーは、上表とは別に、嘱託2(内司書1名)、臨時1(内司書1名)。

# 組織図



平成 28 年 12 月末現在